

令和元年度

# 事業報告書

社会福祉法人 南伊豆町社会福祉協議会

## 令和2年度社会福祉法人南伊豆町社会福祉協議会事業実績報告書

### (1) 事業概要

急速に進む高齢化社会への対応として、高齢者の保健福祉・介護予防の推進、ボランティア活動の推進、社会福祉に対する人材確保、障害者の自立促進など、あらゆる面で事業の構築がなされている。これらのことを考え合わせると社協として取り組むべき事業は住民や当事者の協力が得られ、ニーズに合ったもので、協働性や専門性のあるものが挙げられる。事業推進のためには、各種の公的福祉サービスを積極的に受託し、それらを民間の立場から柔軟に運営しつつ、公的サービスでは対応できない多様なニーズにも対応できる事業を開発し、住民のあらゆる生活・福祉問題を受け止め、素早く確実に問題解決につなげる必要がある。令和元年度は、町より「成年後見推進事業」「生活支援コーディネーター事業」を受託し、県より「生活困窮者自立相談支援事業」「生活困窮者学習支援事業」、県社会福祉協議会より「生活福祉資金貸付事業」「日常生活自立支援事業」「みんなで支える地域福祉促進事業」を受託し事業を実施した。

### (2) 事業内容

#### 1 理事会

- 第1回 健康福祉センター(5月31日)
- ・平成30年度事業報告・決算について
  - ・平成30年度善意銀行決算について
  - ・評議員候補者の選任について
  - ・評議員会の招集について
- 第2回 健康福祉センター(6月21日)
- ・会長・副会長の選定について
- 第3回 健康福祉センター(12月25日)
- ・平成30年度計算書類の訂正について
  - ・上半期収支状況について
  - ・令和元年度補正予算について
  - ・評議員候補者の選任について
  - ・評議員会の招集について
- 第4回 健康福祉センター(3月18日)
- ・令和2年度事業計画・予算について
  - ・令和2年度善意銀行予算について
  - ・令和元年度補正予算について
  - ・給与規程の一部改正について
  - ・評議員会の招集について

#### 2 評議員会

- 第1回 健康福祉センター(6月21日)
- ・役員の選任について
  - ・平成30年度事業報告・決算について

- 第2回 健康福祉センター(1月17日)
- ・役員の選任について
  - ・平成30年度計算書類の訂正について
  - ・上半期収支状況について
  - ・令和元年度補正予算について

- 第3回 健康福祉センター(3月26日)
- ・令和2年度事業計画・予算について
  - ・令和元年度補正予算について

3 監事の監査

- ・決算監査 令和元年5月23日(木)健康福祉センター
- ・中間監査 令和元年11月27日(水)健康福祉センター

4 評議員選任解任委員会

- ・第1回 令和元年6月17日(月)健康福祉センター 評議員3名選任
- ・第2回 令和2年1月16日(木)健康福祉センター 評議員6名選任

5 居宅介護支援事業

介護支援専門員を2名配置し、高齢者の訪問調査、要介護認定等に係る代行申請、サービス計画の作成を行った。また、介護予防支援事業を町より受託し業務を実施した。

○ ケアプランの作成 延693件 (平成30年度669件)

6 居宅介護事業

訪問介護・予防訪問介護は常勤ヘルパーと登録ヘルパーで在宅介護の援助を行い、障害者に対する居宅介護サービスも実施した。

○ 訪問介護	延	286人	3057回	(前年256人	2565回)
○ 総合事業	延	111人	924回	(前年83人	598回)
○ 障害者居宅	延	53人	490回	(前年72人	699回)

7 心配事相談所の開設

(1) 開催期日 毎月15日 午前9時から午後3時

(2) 開催場所 南伊豆町健康福祉センター

(3) 相談員 廣田 理 福原ふくよ 大島明利 平山さち子

(4) 身障相談員 竹河十九巳

## 8 寿大学の開催

老人クラブ指導者層及び会員を対象に寿大学を開講し、高齢者の教養を高めるとともに生きがいの基本を養成した。

5月21日	開講式 「町政について」 南伊豆町長 岡部克仁 氏
6月19日	「悪質商法について」 賀茂広域消費生活センター
7月29日	「バスの乗り方講座」 東海バス
9月20日	「法テラスの紹介と身近な法律問題」 法テラス下田 弁護士 佐野美鶴 氏
10月28日	日帰り研修 靖国神社・皇居散策
11月18日	「万病は腹にあり・マジックショー」 氣楽空円院長 野中晴夫 氏
12月11日	「認知症についての朗読・講話」 南豆のケアをつなぐ会
1月20日	「今、学校では」 南伊豆町教育長 佐野 薫 氏
2月14日	「ビーチマネー運動の取り組み」 エコサーファー代表 堀 直也 氏
3月	閉講式 ※新型コロナウイルスのため中止

## 9 ふれあい広場の開催

(1) 打合せ会 10月 7日 於 商工会

(2) ふれあい広場の開催 10月20日 於 南伊豆町役場 善行表彰2件

## 10 老人給食サービス事業

各地区の公会堂、いこいの家等を利用して18地区で実施。

開催月日	地 区	参加人数	開催月日	地 区	参加人数
6月10日	毛倉野	22	12月 5日	湊・天神原	36
6月21日	西子浦	27	12月12日	下賀茂	33
10月 2日	石 井	15	1月10日	上賀茂	20
10月 4日	東子浦・仲 木	41	1月20日	蛇 石・市之瀬	33
10月16日	青 市	14	2月13日	下 流	65
11月13日	加納・妻良・大瀬	80	2月18日	手 石	26
11月22日	下小野	17	合 計	18地区	429

協力者 JA 伊豆太陽ボランティアグループ「ゆけむりの会」

## 1.1 ボランティア育成事業

(1) ボランティア活動保険への加入 368名 (災害ボランティア保険 33名)

(2) 災害ボランティア

南伊豆災害ボランティアコーディネートの会と協力し事業を実施。毎月1回定例会を開催。

10月21日 フェスタ南伊豆参加 非常食の試食・防災啓発

11月 3日 台風15号・19号義援金募金

1月18・19日 災害ボランティアコーディネーター養成講座

2月 8日 第4回 The 防災 In 南伊豆 (各区長、自主防の皆様とHUG)

2月21日～22日 静岡県内外の災害ボランティア図上訓練

## 1.2 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会より貸付事務の一部を受託し、低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯に対する生活福祉資金貸付事業を実施した。

貸付世帯数及び件数 3世帯 5件 (令和2年3月31日現在)

## 1.3 日常生活自立支援事業

生活支援員2名を配置し、認知症高齢者、障害者の権利擁護のための日常的金銭管理、福祉サービス利用援助事業を実施した。

令和元年度利用者数 2名 支援回数延べ 24回

## 1.4 募金活動

(1) 赤い羽根共同募金

募金実績	戸別募金 (34区)	1,195,600円
	職域募金	6,350円
	街頭・その他	4,159円
	合 計	1,206,109円

(2) 歳末助け合い募金

募金実績	戸別募金 (34区)	1,163,900円
	個人募金・その他	36,723円
	合 計	1,200,623円

\* 歳末助け合い運動配分内訳

使 途	対象人員	配分額
低所得世帯	20世帯	345,000円
寝たきり高齢者	14人	70,000円
重度障害者	66人	198,000円
施設入所者	102人	306,000円
合 計		919,000円

1 5 生活困窮者自立相談支援事業

県内 12 町社協、県社協、NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡とふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアムを結成し、引きこもりや低所得者の生活、就労に関する相談支援事業を実施した。

令和元年度相談受付件数 19 件

就労準備支援事業合宿参加 2 名

1 6 生活困窮世帯学習支援事業

生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の子どもを対象に学習の場を提供し、生活困窮世帯の子どもの学習能力、学習意欲の向上を促進することにより、生活困窮世帯の子どもの自立促進を図った。

夏季 12 日間 延 87 人参加 冬季 4 日間 延 38 人参加

平日 18 日間 延 134 人参加

1 7 居場所「にじいろ」の運営

子供からお年寄りまで自由に集える場として、下賀茂の空き店舗を利用し実施。

開催日 毎月第 1・第 3 水曜日

時 間 午後 3 時から午後 5 時

開催回数 14 回 延 45 人参加

1 8 不登校児童・生徒学習支援事業

不登校の児童、生徒が社会との関わりを持ち、引きこもり防止、学習意欲の向上を目的に実施。

開催回数 14 回 延 25 人参加

1 9 成年後見事業

賀茂地区 1 市 5 町社会福祉協議会で成年後見業務協定を締結し、市民後見人養成講座を開催し、令和元年度は 2 名が修了した。法人後見への取り組みも推進し、後見類型 2 件を受任し後見業務を行った。

また、成年後見制度に関する広報、啓発活動や、制度に関する相談への対応を行った。

市民後見人養成講座 9 月 7 日～2 月 22 日(全 10 回 45 時間)

2 名が修了(累計 9 名)

2 0 地域住民活動活性化事業（みんなで支える地域福祉促進事業）

住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような居場所づくりを推進し、趣味活動に参加して生きがいづくりをする場を提供する目的で実施。また、ボランティアグループの活動を支援し、活動の活性化を図った。

実施内容 発達相談 子ども体操教室 草木染教室 陶芸教室  
ボランティア団体助成 視覚障害・聾者に関する講座 等